

学校図書室の地域への展開事業

2014年2月～2018年1月

活動実績まとめ

特定非営利活動法人ラオスのこども

□ 活動実績

■対象校（村）選定のためのベースライン調査を実施 <活動 1-1, 1-2, 1-4>

以下の日程で、各郡5ヶ所、合計30ヶ所を訪問した。

2014年2月17～21日	ヴィエンチャン県メート郡
2014年3月3～6日	ヴィエンチャン県フアン郡
2014年4月2～4日	ヴィエンチャン県ムーン郡
2014年4月7～9日	ヴィエンチャン県サナカム郡
2014年4月2～4日	ルアンナムター県ルアンナムター郡
2014年4月7～8日	ルアンナムター県ナーレー郡

2チームに分かれて、同時に2箇所の調査をおこなった。調査は、当会スタッフ3名、県教育局スタッフ1名、郡教育局スタッフ1～2名がチームとなり、学校長、児童生徒、村長、村人にインタビューを実施した。

■事業対象校16校を決定 <活動 1-1>

調査内容をもとに協議し、事業対象校16校を以下のとおり決定した。

ヴィエンチャン県サナカム郡：	ナムクワン中学校 <Nakuvan secondary school> ナパファー小学校 <Napafa primary school> ノンサヴァン小学校 <Nonsavan primary school>
ヴィエンチャン県ムーン郡：	ボンシヴィライ小学校 <Phonsivilai primary school> ナムプーン中学校 <Nampeun secondary school>
ヴィエンチャン県フアン郡：	ポントーン中等学校 <Phonthon secondary school> ナートゥンナムハイ小学校 <Nathun-namhai primary school> バーンドン小学校 <Ban Don primary school>
ヴィエンチャン県メート郡：	ナムフアン小学校 <Namhuang primary school> ナムハーン小学校 <Namhan primary school> サマッキーサイ小学校 <Samakhisay primary school>
ルアンナムター県ルアンナムター郡：	ナートウイ小学校 <Nameuay primary school> トーンオム小学校 <Thongom primary school> ナムゲン小学校 <Namngen primary school>
ルアンナムター県ナーレー郡：	モックチョン中学校 <Mokchong secondary school> プーチャレー中学校 <Phuchale secondary school>

■図書や備品の購入と配付準備 <活動 1-5>

学校図書室の開設に向けて、各対象校に提供する図書や備品の購入と配付準備を、当会ヴィエンチャン事務所でおこなった。

ニーズにあわせた図書の出版を計画していたが、多くのニーズに応えるために「ニーズに合わせた図書を選定する」ことに変更し、図書セット購入費でまかなうこととした。（また、図書出版は当会が別事業で実施していることから、他で出版されておらず、ニーズの高い図書については、別事業で出版するようにした。）

■学校図書室開設 <活動 1-3, 1-6>

各対象校において、図書セットを配付と図書室の整備を実施。開設は各校2日間に渡り、担当教員に図書館運営基礎のトレーニングをおこない、対象16校全てで開設を完了した。開設日は以下の通り

ヴィエンチャン県サナカム郡

ノンサヴァン小学校	2014年9月22日～23日	HakArn247
ナパファー小学校	2014年9月24日～25日	HakArn248
ナムクワン中学校	2014年9月26日～27日	HakArn249

ヴィエンチャン県ムーン郡







ナムプーン中学校	2014年9月29日～30日	HakArn250
ボンシヴィライ小学校	2014年10月1日～2日	HakArn251

ルアンナムター県ルアンナムター郡

トーンオム小学校	2014年10月20日～21日	HakArn260
ナムゲン小学校	2014年10月22日～23日	HakArn261

ナートゥイ小学校	2014年10月24日～25日	HakArn262
ルアンナムター県ナーレー郡		
モックチョン中学校	2014年10月27日～28日	HakArn256
プーチャレー中学校	2014年10月29日～30日	HakArn258
ヴィエンチャン県フアン郡		
ナートウンナムハイ小学校	2014年11月17日～18日	HakArn253
ポントーン中学校	2014年11月19日～20日	HakArn254
バーンドン小学校	2014年11月21日～22日	HakArn252
ヴィエンチャン県メート郡		
ナムハーン小学校	2014年11月24日～25日	HakArn257
サマッキーサイ小学校	2014年11月26日～27日	HakArn259
ナムフアン小学校	2014年11月28日～29日	HakArn255

※HakArn は、当会が開設支援をおこなった図書室の愛称。ラオス語で「愛読」を意味する。

Vientiane Sanakham Nonsawan HA247 22/09/2014	Vientiane Sanakham Napafa HA248 24/09/2014	Vientiane Sanakham Nam kuan HA249 26/09/2014	Vientiane Muen Namphern HA250 29/09/2014
			
18°3'22"N 101°42'25"E	17°58'37"N 101°40'40"E	18°8'48"N 101°43'14"E	18°14'1"N 101°55'49"E
Vientiane Muen Phonsivilay HA251 01/10/2014	Vientiane Feuang Ban Don - Ban Tha HA252 17/11/2014	Vientiane Feuang Nathoun - Namhai HA253 19/11/2014	Vientiane Feuang Na pheuang - Phonthorn HA254 21/11/2014
			
18°17'22"N 101°57'45"E	18°41'15"N 102°7'34"E	18°37'18"N 102°1'8"E	18°37'48"N 102°4'3"E

■ 学校図書室のフォローアップ 活動 <1-2, 1-3, 1-4, 1-6, 2-2, 2-7>

ヴィエンチャン県の教育指導官がスタッフと以下の日程で学校を訪問し、図書室運営のサポート活動を実施した。

ヴィエンチャン県サナカム郡

ノンサヴァン小学校	2015年5月4日～5日	2016年2月12日	2016年9月23日～24日
ナバファー小学校	2015年5月6日～7日	2016年2月12日	2016年9月19日～20日
ナムクワン中学校	2015年5月8日～9日	2016年2月11日	2016年9月28日～29日

ヴィエンチャン県ムーン郡

ナムブーン中学校	2015年9月21日～22日	2016年2月15日	2016年10月31日～11月1日
ボンシヴィライ小学校	2015年9月23日～24日	2016年2月16日	2016年11月2日～3日

ヴィエンチャン県フアン郡

ナートウンナムハイ小学校	2015年4月27日～28日	2016年2月17日	2016年9月19日～20日
ポントーン中学校	2015年5月19日～20日	2016年2月18日	2016年9月23日～24日
バーンドン小学校	2015年4月29日～30日	2016年2月19日	2016年9月29日

ヴィエンチャン県メート郡

ナムハーン小学校	2015年11月18日～19日	2016年4月4日	2016年12月9日～10日	2017年4月3日
----------	-----------------	-----------	----------------	-----------

サマッキーサイ小学校	2015年11月20日～21日	2016年4月7日	2016年12月14日～15日	2017年4月5日
ナムファン小学校	2015年11月16日～17日	2016年4月8日	2016年12月16日～17日	2017年4月7日

ルアンナムター県ルアンナムター郡

トーンオム小学校	2015年10月19日～20日	2016年3月25日	2016年10月31日～11月1日
ナムゲン小学校	2015年10月21日～22日	2016年3月26日	2016年11月4日
ナートゥイ小学校	2015年10月23日	2016年3月21日	2016年11月7日～8日

ルアンナムター県ナーレー郡

モックチョン中学校	2015年10月28日～29日	2016年3月23日	2016年12月5日～6日
プーチャレー中学校	2015年10月26日～27日	2016年3月24日	2016年12月7日～8日

フォローアップは当団体スタッフ2名、県教育局(PESS)スタッフ1名、郡教育局(DES)スタッフ1名のチームで実施した。

フォローアップの活動内容は、

1日目は図書室の活動状況のモニタリング、図書室運営のフォローアップ（図書室の整理、利用者数や貸出数など利用状況記録方法の確認、蔵書登録や貸出・返却手続きの復習）図書の補充、図書のニーズ調査、読書と図書室の利用についての生徒へのインタビューを実施した。蔵書登録方法が誤っている図書の蔵書登録の修正や新しく補充した図書の蔵書登録は、当団体スタッフが指導しながら図書室担当教員と図書ボランティアの生徒が実施することで、復習と定着を図った。

2日目は当団体スタッフによる生徒向けの読書推進活動の実施と教員を対象に当団体スタッフが授業での図書活用方法を指導した。生徒向けの読書推進活動では、紙芝居、絵本の読み聞かせ、集中して物語を聞くゲーム、絵本や紙芝居のストーリーの劇、詩の詠唱、ダンスなどを実施した。当団体スタッフがリードしながら、詩の詠唱や劇は生徒や教員にも参加してもらい、本に興味を持ち物語の楽しさを生徒と教員に体感してもらえよう努めた。教員への授業での図書活用方法の指導では、絵本の輪読、紙芝居を実演するときのコツの指導、ラオス語の古典の音読、生き物の本を使ったグループワーク、読書感想文など実施した。読書がまだまだ普及していないラオスでは読書感想文になじみがないため、今回はフォーマットにあてはめて書く短い感想文を提案し指導した。フォローアップの活動内容は、各校の活動状況・レベルを鑑み、各校の状況に合わせて実施した。



1日間での実施の場合は、上記の内容を抽出し、各校の状況に合わせて行った。

2017年度は、学校図書室は十分に活動できていないところ（ヴィエンチャン県メート郡の3校）のみフォローアップした。

■教育指導官研修 <活動 2-1>

第1回目は、2014年6月24～26日、14名の教育指導官を対象に、図書活動に関する能力強化研修をヴィエンチャンにて実施した。学校での読書推進活動に関する内容はもとより、本事業では地域での活動理解を広めることが重要なポイントになることから、広報活動に関するテクニックの指導にも力をいれた。教育指導官はこのような研修を受けた機会がなく、新しいツールを使った広報活動に大変興味を示し、積極的に研修に取り組んだ。何人かの指導官は、ビデオクリップなど、メディア資料の

作成の技術を、素早く習得した。そして、それらの技術を地域での活動に活かす様々なアイデアを持つことができた。図書館活動に関するトレーニングは、既に履修済みの指導官もいたことから、理解が早く、短い時間で終わることができた。

第2回目は、2016年8月16日～18日にヴィエンチャン都にて実施した。

研修の内容は以下の通り。

- 1 日目：各郡の状況報告、グループワークでのグッドプラクティスと課題の共有、情報共有を促すためのコンピューターやメール、SNSの使い方の指導
- 2 日目：図書室運営方法の講義と実習、読書推進アクティビティ（読み聞かせや紙芝居など）と授業での図書活用方法の講義と実習
- 3 日目：当団体ヴィエンチャン事務所併設図書室の視察、目指す図書室像を描くグループワーク、各郡の教育指導官によるアクションプランの発表

教育指導官からは、コミュニティや児童・生徒の読書への興味・関心が高まっている、児童・生徒が以前よりスムーズにラオス語図書を読めるようになったり、自分に自信がついてきたなどのポジティブな変化の報告があった。一方、学校図書室・地域文庫ともに図書室担当者が定期的に図書室の開放ができていない、図書室担当者や教育指導官の異動・変更で担当者や教育指導官が図書室の運営や読書推進活動を理解できていないなどの課題が挙げられた。

今回の研修はヴィエンチャン都で実施することで、よい図書室・目指す図書室の具体例として当団体事務所併設図書室の視察を組み込み、参加者により図書室を体感してもらうことができた。参加者は学校図書室や地域文庫に比べて圧倒的な蔵書数や図書のバラエティ、整理整頓された書棚、清潔かつ折り紙などで飾り付けられた利用者が心地よく過ごせる空間などに刺激を受けていた。



■ブックフェスティバルの実施 <活動 2-6, 3-2>

読書推進のイベントである「ブックフェスティバル」をヴィエンチャン県教育局、ラオス国立図書館の協力のもと、以下の日程で開催した。

2016年3月28日～29日：ルアンナムター県ルアンナムター郡

2016年4月25日～26日：ヴィエンチャン県フアン郡

2016年4月28日～29日：ヴィエンチャン県ムーン郡

2016年5月9日～10日：ヴィエンチャン県サナカム郡

生徒たちによる読み聞かせや紙芝居、詩の詠唱、絵本を題材にした劇などの発表をメインに、出張図書室や折り紙などのアクティビティを実施した。読み聞かせや紙芝居の披露では、生徒が緊張しながら練習の成果を披露する姿が見られ、詩の詠唱や劇の発表では観客が大いに盛り上がっていた。多くの子どもたちが読書や折り紙や塗り絵を楽しんでいた。郡内の小学校・中等学校が多数参加し、プロジェクト対象地以外の学校・コミュニティにも読書推進をアピールすることができた。また、ブックフェスティバルの実施で各校・各地域の図書活動実施のモチベーションが高まった。



■地域活動研修 <活動 3-1>

2014年度は、入職して1年程度の若手スタッフ4名を、ラオス国内の地域活動を実施する団体 Buddhism for Development Project (BDP)による Training for Volunteer for Community の研修に2回参加させた。2014年3月20日～27日は Activity Development for Field Practice、4月28日～30日は Techniques for working with community に関するトレーニングをおこなった。

また、2014年3月18日、6月2日～5日、7月16日～17日の3回に渡り、団体内でベテランスタッフ若手スタッフに対し、読み聞かせや紙芝居、手遊び歌などの読書推進の活動、広報活動に関するテクニックを指導した。

さらに、2015年2月19日～22日、タイの Poithale 大学のセミナーに、スタッフ1名 (Mr. Bunlop) が参加。地域開発、経済的自立の理論を学び、地域の森林を守るためにどう行動するかなどの事例を元に学ぶもの。事例は農業の分野だが、村人が前向きに村の開発を考え、行動することを奨励し、そのような人材を見つけ、育てるという点で役立つものと考え参加させた。3月上旬には、参加したスタッフがセミナーで学んだ内容を他のスタッフにシェアする機会もあった。

また、2016年9月5日～6日、スタッフ1名 (Mr. Bunlop) を、ラオス国内で開催された研修「Journalism training」に参加させた。地域活動において、住民の関心を聞き出すのに役立つインタビューテクニックや、情報のリサーチ、文書へのまとめ方などを学んだ。

■図書や備品の購入と、配付準備 <活動 3-2, 3-3>

地域文庫の開設に向けて、提供する図書や備品の購入と配付準備を当会ヴィエンチャン事務所でおこなった。また同時に、学校図書室のフォローアップ訪問時に補充として配付する図書セットの準備をおこなった。

■地域文庫 (村図書館) の開設 <活動 3-2, 3-3>

地域文庫の活動に関心を示した地域の中で、積極的で受け入れ態勢が整っている5地域において、以下の日程で地域文庫を開設した。

2015年5月11日～12日	ヴィエンチャン県サナカム郡 ノンサヴァン村 Nonsavan	HakArn272
2015年5月13日～14日	ヴィエンチャン県サナカム郡 ナバファー村 Napafa	HakArn271
2015年5月21日～22日	ヴィエンチャン県フアン郡 ナーブン村 Napheuang	HakArn273
2015年7月6日～7日	ヴィエンチャン県サナカム郡 ナムクワン村 Namkuvan	HakArn274
2015年7月9日～10日	ヴィエンチャン県フアン郡 ナートウン村 Nathun	HakArn275
2016年1月13日～14日	ルアンナムター県ナムター郡 トーンオム村 Thongom	HakArn296
2016年1月15日～16日	ルアンナムター県ナムター郡 ナートウイ村 Namteuy	HakArn297
2016年1月18日～19日	ルアンナムター県ナーレー郡 プーチャレー村 Phuchale	HakArn298
2016年4月5日～6日	ヴィエンチャン県メート郡 ナムハーン村 Namhan	HakArn299
2016年7月25日～26日	ヴィエンチャン県フアン郡 バンドン村 Ban Don	HakArn301
2016年7月25日～26日	ヴィエンチャン県ムーン郡 ボンシヴィライ村 Phonsivilai	HakArn302
2016年12月5日～6日	ヴィエンチャン県メート郡 サマッキーサイ村 Samakkhisay	HakArn303
2016年12月7日～8日	ヴィエンチャン県メート郡 ナムフアン村 Namhuang	HakArn304
2017年3月14日～15日	ルアンナムター県ナムター郡 ナムゲン村 Namngen	HakArn306
2017年3月14日～15日	ヴィエンチャン県ムーン郡 ナムプーン村 Nampeun	HakArn307
2017年3月16日～17日	ルアンナムター県ナーレー郡 モックチョン村 Mokchong	HakArn305

※HakArn は、当会が開設支援をおこなった図書室の愛称。ラオス語で「愛読」を意味する。



地域文庫の新規開設は、1 か所 2 日間の日程で開設作業を実施した。内容は、地域文庫開設セミナー、寄贈品の確認、書棚の組み立て、蔵書登録、ラオス国立図書館スタッフによる図書室運営研修、読書推進アクティビティ（紙芝居や読み聞かせ、ダンスなど）の実施、地域文庫運営ルールの作成をおこなった。

■地域文庫（村図書館）のフォローアップ <活動 1-4, 1-6, 3-3, 3-4, 3-5>

以下の日程で地域文庫を訪問し、図書室運営のサポート活動を実施した。

ヴィエンチャン県サナカム郡

ハンサヴァン村	2016年2月12日	2016年9月26日～27日	2017年5月5日
ナバファー村	2016年2月13日	2016年9月21日～22日	2017年5月6日
ナムクワン村	2016年2月11日	2016年9月30日～10月1日	2017年5月8日

ヴィエンチャン県ムーン郡

ナムブーン村			2017年3月15日
ボンビヴィライ村		2016年11月4日～5日	2017年3月18日

ヴィエンチャン県フアン郡

ナートウン村	2016年2月17日	2016年9月21日～22日	2017年4月27日
ナーブン村(ボントーン村)	2016年2月18日	2016年9月26日～27日	2017年4月28日
バーンドン村		2016年9月30日～10月1日	2017年4月29日

ヴィエンチャン県メート郡

ナムハーン村		2016年12月12日～13日	2017年4月4日
サマッキーサイ村			2017年4月6日
ナムフアン村			2017年4月8日

ルアンナムター県ルアンナムター郡

モックチョン村			2017年4月7日
ブーチャレー村	2016年3月24日	2016年12月9日～10日	2017年4月6日

ルアンナムター県ナーレー郡

トーンオム村	2016年3月25日	2016年11月2日～3日	2017年3月30日
ナムゲン村			2017年4月1日
ナートウイ村	2016年3月21日	2016年11月9日～10日	2017年3月31日

フォローアップは当団体スタッフ 2 名、県教育局(PESS)スタッフ 1 名、郡教育局(DES)スタッフ 1 名のチームで実施した。活動内容は、

- 1 日目は図書室の活動状況のモニタリング、図書室運営のフォローアップ（図書室の整理、利用者数や貸出数など利用状況記録方法の確認、蔵書登録や貸出・返却手続きの復習）図書の補充、図書のニーズ調査を実施した。蔵書登録方法が誤っている図書の蔵書登録の修正や新しく補充した図書の蔵書登録は、当団体スタッフが指導しながら地域文庫運営担当者が実施することで、復習と定着を図った。
- 2 日目は紙芝居、絵本の読み聞かせ、集中して物語を聞くゲーム、絵本や紙芝居のストーリーの劇、詩の詠唱、ダンスなどを実施した。当団体スタッフがリードしながら、詩の詠唱や劇は地域文庫運営担当者にも参加してもらい、本に興味を持ち物語の楽しさを地域文庫運営担当者に体感してもらえよう努めた。



地域文庫は学校図書室に比べ、全般的に担当者の図書室運営についてあまり理解できていない傾向がみられた。特に利用者数のデータ記録や蔵書登録などで誤りが見られたため、改めて指導を行った。フォローアップにより地域文庫担当者の図書室運営システムへの理解が深まり、担当者が自信をもって運営しているという報告が複数の地域文庫から上がっている。一方、2016 年度の地域文庫フォローアップは 1 か所 2 日間を予定していたが、村の都合（村の会合や予防接種の集団接種など）でフォローアップ日程を急遽 1.5 日にせざるを得ないケースや、農繁期のため地域文庫運営担当者で当日を欠席する人がいるケースなど、学校での活動とは異なる難しさに直面した。

2017年3～5月は地域文庫の定着のための活動に注力し、全地域文庫を対象に、1か所1日ずつフォローアップを実施した。地域文庫のフォローアップの内容は、地域文庫の活動状況のモニタリング、図書室運営のフォローアップ（図書室の整理、利用者数や貸出数など利用状況記録方法の確認、蔵書登録や貸出・返却手続きの復習）図書の補充、図書のニーズ調査に加え、中等学校の生徒による地域文庫ボランティア組織の働きかけを行っている。これは、生徒の地域文庫ボランティアを組織することで、地域文庫運営の安定を図ると同時に子どもと地域文庫のつながりを強め、子どもの地域文庫利用を促すことを狙ったものである。学校図書室での経験で生徒の図書ボランティアが活躍していると活動が安定することと、ヴィエンチャン県サナカム郡ノンサヴァン村地域文庫において、郡教育局の働きかけにより、生徒を中心に監督役の教員を含めた地域文庫ボランティアが組織できたことで活動が活性化したことがきっかけとなっている。



■村教育開発委員会(Village Education Development Committee, VEDC)ワークショップ <活動 3-5>

PDM 見直しで追加した活動である「村教育開発委員会(VEDEC)ワークショップ」を2017年3月から5月にかけて、郡ごとに実施した。

実施場所・日程：ヴィエンチャン県ムーン郡	2017年3月16日～2017年3月17日
ルアンナムター県ルアンナムター郡	2017年3月29日～2017年3月30日
ヴィエンチャン県メート郡	2017年3月31日～2017年4月1日
ルアンナムター県ナーレー郡	2017年4月4日～2017年4月5日
ヴィエンチャン県フアン郡	2017年4月25日～2017年4月26日
ヴィエンチャン県サナカム郡	2017年5月3日～2017年5月4日

ワークショップは各地域文庫から3名ずつ（村長1名、地域文庫の運営担当者1名、VDECメンバー1名）として、当団体スタッフがワークショップの講師・ファシリテーターを務め、県教育局(PESS)スタッフ1名、郡教育局(DES)スタッフ1名が同席した。内容は、

- 1 日目は各地域文庫から活動状況の共有、地域文庫運営管理についての理解度確認とおさらい、読書推進アクティビティの紹介と実習（紙芝居、絵本の輪読など）、地域文庫の運営をサポートする生徒の図書ボランティア組織の働きかけを行った。
 - 2 日目は地域文庫の運営計画案の作成と発表、地域文庫の運営予算の作成と発表を実施した。
- ワークショップは郡単位で実施したため、参加者にとっては、普段はなかなか顔を合わせる機会がない郡内の他の地域文庫の関係者と顔を合わせ、学び合い、情報交換をする機会にもなった。



ワークショップ実施時に、プレ・ポストで参加者の意欲と理解度を0～4までの5段階で自己評価してもらった形で測定した。ワークショップ実施前は8項目すべてで中央値の2を下回っていたが、ワークショップ実施後はすべての項目が3前後まで上昇した。特に、No.7「自分の村の地域文庫を運営していく意欲」とNo.8「関係者と協力して自分の村の地域文庫を運営していく自信」で高い数値が出ている。有志の無償ボランティアで運営している地域文庫にとって、関係者の地域文庫運営への意欲と自信は地域文庫が自主的・継続的に運営していくにあたり重要なポイントとなるため、今回のワークショップは良い効果があったと考えている。結果の詳細は以下の通り。

No.		ワークショップ実施前	ワークショップ実施後
1	読書と図書室に対する関心	1.36	2.89
2	図書室の運営管理についての知識	1.65	2.98
3	読書推進活動についての理解	1.62	2.89
4	読書と図書室の重要性についての理解	1.89	3.09
5	自分の村の地域文庫運営計画についての理解	1.70	2.89
6	地域文庫の予算案作成方法についての知識	1.82	3.07
7	自分の村の地域文庫を運営していく意欲	1.93	3.13
8	関係者と協力して自分の村の地域文庫を運営していく自信	1.90	3.16

■中間評価の実施 <活動 3-6>

プロジェクト対象地の2県6郡を、2郡ずつ3か所に分け、以下の日程で図書室の担当者を中心としたワークショップ形式の中間評価を実施した。

2016年4月21日～23日：ヴィエンチャン県フアン郡

(対象：ヴィエンチャン県フアン郡・ムーン郡)

2016年5月05日～07日：ヴィエンチャン県サナカム郡

(対象：ヴィエンチャン県サナカム郡・メート郡)

2016年5月16日～18日：ルアンナムター県ルアンナムター郡

(対象：ルアンナムター県ルアンナムター郡・ナーレー郡)

各セッション、各図書室から2名（学校図書室：校長と図書室担当教員、地域文庫：運営担当者）、県・郡の教育指導官、ラオス国立図書館スタッフ、教育スポーツ省スタッフが参加した。

1日目は各図書室の課題や工夫の共有、2日目は対象地域で活発に活動している学校図書室と地域文庫を1か所ずつ見学し、3日目は2日目までの活動を踏まえて図書室ごとにアクションプランの作成を行った。

多くの図書室で共通する課題として、「図書室の運営担当者が他の業務も抱えているため図書室の開放時間が限られてしまう」ことが挙げられた。学校図書室では開放時間が午前10～15分、午後30分のところが多いが、この限られた時間では図書室業務（貸出・返却・図書の整理など）が終わらないという課題も多く挙げられた。課題の解決策のひとつとして、「図書ボランティアの人数を増やすこと」が挙げられ、活動が活発な図書室では図書ボランティアの人数が多いという実例が紹介された。一方、地域文庫からは開放しても利用者が来ないと管理者のモチベーションが下がってしまうという課題が挙げられたが、村人が来やすい時間（夕方）に開放しているという他の地域文庫の工夫が共有された。

活発に活動している図書室、図書室担当者、図書ボランティアの表彰も併せて実施した。2月から4月にかけて交代で全図書室を訪問した当団体スタッフが話し合い、表彰する図書室や担当者を決定した。表彰により、各図書室の活動へのモチベーションが高まり、グッドプラクティスの共有も促された。

■終了時評価の実施 <活動 3-6>

プロジェクトの終了にあたり、以下のようなスケジュールで、事業評価を実施した。

2017年7月 評価実施計画（PDMに記載した指標とそれらの指標に基づくデータ収集に加えて、質問紙を用いた面接による情報収集）の最終化

2017年8月 評価ツール（質問紙等）の作成

2017年11月～12月 データ収集（end-line monitoring）

2017年12月下旬 データの集計

2018年1月上旬 データ分析と考察

2018年1月8～9日 終了時評価会議

終了時評価インタビューリスト

		大人	子ども	質問数
A	学校図書室運営担当者（各校1名）	16		15
B	学校図書ボランティアの児童生徒（各校3名）		48	9
C	地域文庫運営担当者（各文庫1名）	16		9
D	地域文庫を1回以上利用したことのある人	85	54	9
E	地域文庫を一度も利用したことのない人	78	82	4
F	村教育開発委員会のメンバー（校長・村長・それ以外のメンバー：各村3名）	48		9
	合計	427人		55



■PDM 見直しと現地カウンターパートへの共有

2016年11月のJICA東京富田氏の現地モニタリングにて当事業のPDMを見直しの必要性が認められ、2017年3月24日付でPDM見直しに関する打合簿をJICA東京と交わした。

PDM見直しの過程で、地域文庫を「学校図書室の分室」と位置づけ、「子どもの図書利用機会の増加」がプロジェクト目標であることを団体内部で再度確認した結果、地域文庫の活動改善への取り組み強化として、村教育開発委員会(Village Education Development Committee, VEDC)に働きかけ、学校の運営管理と併せて「学校図書室の分室」として、地域文庫の管理に関わってもらえるように、VEDCメンバー向けのワークショップを実施することを決め、PDMへ活動3-5として追加した。

見直したPDMと新たな活動については、2017年3月から5月に各郡を訪問して活動する際に、各郡の教育局(DES)と打合せを行い、改定したPDMとVEDCを加えることについて説明し共有している。打合せには県教育局(PESS)のスタッフも1名同席している。説明を実施した各郡教育局からは、今回の見直し内容とVEDCを新たに加える件について、好意的な反応で合意を得られた。

以上